

# 小噺について

パデュー大学 畑佐一味先生

「笑いを加えた学びの作り方」より抜粋

# 小噺

小噺は、落語の演目に入る前の「まくら」（ウォーミングアップ）に用いる笑話のことです。

# 小噺を授業で

小噺とは落語の一種で、とても短い笑いばなしのことです。

患者：先生、私、手術するのはじ、初めてなんですが、大丈夫で  
しょうか？

先生：大丈夫ですよ。私も初めてですから。

学習者はこのような小噺を演じることで、単に日本文化や言語の知識を増やすだけでなく、表現することの喜びや創造性を楽しむことを感じていきます。

# 小噺15選

下に「小噺集15選」のファイルがあります。(クリックするとファイルに飛びます)

それを学習者たちと一緒に読んで、自分が気に入った小噺を一つ選んでもらってください。

[「小噺集15選」ファイル](#)

## 小噺集

### 手術

患者「先生、私、手術するの、初めてなんですけど、大丈夫でしょうか。」

医者「心配する事はありません、私だって、(手術するの)初めてなんですから。」

### 読書

女1「読書は好きですか。」

女2「はい、読書は大好きです。」

女1「ロミオとジュリエットを読みましたか。」

女2「はい、ロミオは読みましたが、ジュリエットはまだです。」

### 神様

学生「神様、私の日本語を上手にしてください。」

神様「何でも言うことを聞くか？」

学生「はい、何でもします」

神様「勉強しろ」。

### 写真

子供「お父さん、旅行の写真、見せて。」

父親「いいよ。ほら、これはお父さんがスキューバダイビングの時に撮った写真だよ」

子供「わあ、きれいだね。・・・うわっ、この魚、怖いね！」

父親「(ん?) ばか、それはお母さんだ。」

# 指導するときの注意点

- 1 言葉をしっかり覚える
- 2 大きい声
- 3 発音
- 4 落ち着いて、ゆっくり

# 話を効果的にするポイント

- 1 目線を止める（誰かがいるようなつもりで話す）
- 2 （やりすぎないように）上下をきる
  - 上下をきる：落語家が複数の人を演じ分ける時に少し右と左に顔を向けること
- 3 扇子と手拭いをうまく使う
- 4 創造性！（答えは一つではない。）

# 参照リンク

みんなの小噺プロジェクト

- <https://one-taste.org/kobanashi/>

練習方法や、実際の発表会の様子などが載っていますので、  
学習者のみなさんに見せてあげてください。

# 注意

- ・今回の「ミニプレゼン」はオンラインで行うので、座布団に座ったり、着物を着たりする必要はありません。
- ・扇子や手ぬぐいもなければ、使わなくてもいいです。

皆様の生徒・学生さんの参加を楽しみにしております。

何かわからない点がありましたら、  
[apje.info@gmail.com](mailto:apje.info@gmail.com) にご連絡ください。

APJE 「ミニプレゼン」 実行委員会